

墨田区議会 Liberal Democratic Party

自由民主党だより



発行/墨田区議会自由民主党(墨田区吾妻橋1-23-20)
発行責任者/福田はるみ ※ご意見・ご要望をお待ちしております。

ホームページもチェック!

http://jimin-sumida.jp/



田中 邦友議員

坂下 修議員

瀧澤 良仁議員

木内 清議員

沖山 仁議員

佐藤 篤議員

加藤 拓議員

樋口 敏郎議員

福田 はるみ議員

中沢 えみり議員

しもむら緑議員

坂井 ユカコ議員

新体制スタート

まず冒頭に、このたびの大阪北部地震によりお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災地の一日も早い復興をご祈念申し上げます。

さて私このたび、区議会臨時会におきまして区議会議長に選出されました。私にとりましては、5回目の就任であり、その職務の重さをあらためて痛感しております。

現在の区議会議員の任期は、残り1年を切りましたが、一人ひとりが区政課題に真摯に向き合い、解決に向けて全力を尽くしてまいります。

特に、議会の基本的事項を定める「議会基本条例」につきましては、今任期中の制定に向けて、現在、議会改革特別委員会において検討を重ねています。本条例に基づき、より開かれた議会を目指すとともに、一層の議会活動の活性化を進めていきます。

区議会は、今後とも執行機関である区と連携し、区政の更なる発展を図ってまいりますので、今後とも皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

第一回臨時会が開催され、議会構成が決定しました。

わが会派も新執行部のもと平成30年度がスタートします。ご期待ください!

議長就任あいさつ



墨田区議会議長 瀧澤良仁

幹事長就任挨拶



墨田区議会自由民主党 幹事長 福田はるみ

4月に行われました墨田区議会自民党の総会におきまして平成30年度幹事長に就任させて頂きました福田はるみでございます。

冒頭に大阪府北部地震により犠牲となられた方々のご冥福をお祈り申し上げるとともに被災されました皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

墨田区議会は今まで山本亨区長と共に「ひとつくり・まちづくり・すみだの夢実現構想」を推進し様々な施策に取り組んで参りました。今後も「暮らし続けたい・働き続けたい・訪れたいまちすみだ」の実現を目指して参ります。

また2年後に東京オリンピック、パラリンピックが開催され、墨田区も両国国技館がボクシング会場に選出されましたのをきっかけに区民の気運醸成を図っていきたく存じます。

また、自民党は開かれた区議会を目指しております。もしご意見等ございましたらお気軽にお問い合わせ下さい。皆さまのお声を区政へ届けて参ります。

今後とも区民の皆さまのご支援、ご協力をお願い致します。

執行部・議会運営委員会

本会議の議事運営や議会の運営等について話し合います。

議会運営委員会とは、円滑な議会運営を期すため、議会運営の全般について協議し、意見調整を図る場として設置された委員会のことをいいます。会期、議事日程、議案等の取扱い、質問の取扱いなどの議会の運営や会議規則、委員会条例等に関する事項などを協議、調査、審査します。

山本区長と平成30年度新執行部



写真左より/樋口敏郎委員、福田はるみ委員長、山本亨区長、中沢えみり委員、加藤拓委員、

監査委員に就任



田中邦友議員

27万人を超える区民の安心・安全を守り続けていくためには、防災や福祉、教育などの課題にたゆまなく取り組んでいく必要があります。それには財政の健全化を確保していくことが強く求められます。一方で、昨年地方自治法の改正により、監査委員の職責が更に重いものとなって参ります。私は、これまでの議員としての経験と知識を活かし、区民の目線に立って職務に最善を尽くして参ります。

INDEX

- [1] 新体制スタート 執行部・議会運営委員会 監査委員に就任
[2][3] 本会議での質問一覧 平成30年度 常任委員会と特別委員会
[4] 全国市議会議長会 各特別表彰受賞等
●議員紹介

本会議での質問一覧

本会議代表質問



墨田区議会議員
加藤 拓

■保育所の待機児童について問う

問1 これまで墨田区は保育所定員の拡大により待機児童対策に取り組んできた。しかし、本年4月1日時点で193名の待機児童が発生している上、財政面での負担も大きくなってきている。引き続き保育定員の拡大も必要だが、今後持続可能な子育て支援を行っていくためには、定期利用保育の拡充など、様々なサービスを充実させ、認可保育所以外の選択肢を増やすことを考える時期ではないか。

答1 引き続き保育定員の拡大は必要である。一方で、子育て世帯の中には、就労状況などから、定期利用保育や一時預かり、幼稚園等の利用が選択可能な方もいると認識している。こうした世帯には、認可保育所以外にも最適なサービスを選択してもらえよう、多様な子育て支援策を充実することで、財政負担の適正化と待機児童の解消の両立を目指していく。

問2 今後の施策展開のために、早急に未就学児の保護者に意向調査を行うべきでは。

答2 子育て環境に関する区民のニーズを把握するため、この夏に、改めて「子ども・子育て支援ニーズ調査」を実施する。その結果を踏まえ、これまでの子育て施策を検証した上で、次期「墨田区子ども・子育て支援事業計画」を策定し、効果的で持続可能な子育て支援策を推進していく。

問3 東京都の「働くパパママ育児取得応援事業」のような、企業側に育児取得を促進する施策も待機児童対策になる。特別区長会として国や都に働きかけてほしい。

答3 育児休業給付金の現行制度の見直しを始めとした取得促進に係る施策の強化等、子育て支援制度の一層の充実を、国や都に対して働きかけていく。

■新保健センターの整備について問う

問1 施設整備については、本区の厳しい財政状態を考慮し、「墨田区新保健センター等複合施設整備基本計画」で示している45億円を超えないことの厳守を求める。

答1 コンストラクション・マネジメント業務委託を活

用して、整備基本計画でお示ししている、45億円以内に収めるように進めていきたい。

問2 デザイン性の高い施設は、改修の際の高額の負担や、低利用の空間の発生等の恐れがある。維持補修の負担が少なく、建物を隈なく活用できる、汎用性の高い設計にすることを強く求める。

答2 公共施設等総合管理計画や第2次公共施設マネジメント実行計画の基本方針を踏まえ、耐久性や維持管理のしやすさ、職員の働きやすさ、省エネルギー性などの観点を取り入れ、汎用性が高く、将来の機能転換等にも柔軟に対応できる施設を目指していく。

■日本遺産について問う

問1 これまで予算特別委員会等で、わが会派から「隅田川」での日本遺産(※)を提案してきた。3年間観光施策等に国の補助金を活用できるようにする等、認定によるメリットは大きいと考えるが認識は。

答1 日本遺産に認定されることにより、当該地域の認知度が向上し、地域のブランド化につながる。また、地域の愛着心の向上にもつながるため、メリットはあるものと考えている。

※日本遺産とは「日本遺産(Japan Heritage)」は地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産(Japan Heritage)」として文化庁が認定するものです。ストーリーを語る上で欠かせない魅力溢れる有形や無形の様々な文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としています。

「日本遺産」に認定されると、認定された当該地域の認知度が高まるとともに、今後、日本遺産を通じた様々な取組を行うことにより、地域住民のアイデンティティの再確認や地域のブランド化等にも貢献し、ひいては地方創生に大いに資するものとなると考えています。(文化庁HPより)

文化庁は、日本遺産を平成32年度までに100件認定するとしており、今年度までに44道府県67件が認定されているが、東京都では1件も認定されていない。

問2 「災害・戦災からの復興と復旧」をストーリーにして、東京都での日本遺産認定第1号を目指してほしい。墨田区単独での認定は不可能なので、墨田区・江東区・荒川区・台東区・中央区の流域5区で申請するよう各区に働きかけてほしい。

答2 隅田川に架かる清洲橋、永代橋、勝鬃橋を活用したストーリーを作ることができれば、申請の条件を満たすことは可能であると考える。区長部局等関係部署とも連携を図りながら、対応していきたい。

◆その他、葛飾北斎の作品を通じた国際交流について、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会への取組について、学力向上新3か年計画について質問しました。

区政にかかわる案件をより能率的、専門的に審査する為に、各議案は事務部門別に設置された4つの常任委員会に付託され、議論されます。各委員会での審査結果は、本会議で報告されます。また、特定の事件について調査するため特別委員会が設けられています。

区民福祉委員会

戸籍、国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金、税務、障害者福祉、高齢者福祉、介護保険、保健衛生、健康づくりなどに関する事項を議論します。



写真左より／木内清委員、佐藤篤委員長、樋口敏郎委員

報告 12月17日より戸籍証明等がコンビニでとることができるようになります

現在コンビニでは住民票、印鑑登録証明書及び課税証明書の取得が可能ですが、新たに戸籍証明等についても対象となります(窓口の100円引き)。自民党としては行政改革の観点から、窓口事務を外発発注することも推進していきます。

報告 現在審議中の都の受動喫煙対策について議論しました

区内で約84%の飲食店が対象となる都条例について、営業への影響や取締の実務的課題等を議論しました。自民党としては受動喫煙しない権利を最大に尊重しつつ、喫煙者の権利や営業の自由との調和を図るべく提案を続けています。

特別委員会 人事について

特定の事件の調査又は審査を行うため、議会の議決により3つの特別委員会を設置しています。

議会改革特別委員会

議会基本条例の制定を目標にし、議会改革や政治倫理等について議論します。



▲写真左より／坂井ユカコ副委員長、しもむら緑委員、樋口敏郎委員長、佐藤篤委員、加藤拓委員

災害対策特別委員会

災害対策特別委員会は、防災対策、不燃化及び耐震化の促進ならびに災害復興対策に関する事項を議論します。



▲写真左より／坂下修委員、瀧澤良仁委員、田中邦友委員

都区制度改革等特別委員会

都区制度改革等特別委員会は、都区制度改革の推進、児童相談所の移管及び地方公会計制度に関する事項を議論します。



▲写真左より／福田はるみ委員、木内清委員、沖山仁委員、中沢えみり委員

一般質問

■発災時、確実に大切な命を救うため災害医療について質問しました。



墨田区議会議員 しもむら 緑

大地震が発生した場合、軽症・重症を問わず、多くの傷病者が病院に殺到し、必要な方に適切な医療を提供できなくなる恐れがあることから、トリアージが初動医療体制で非常に重要となってきます。トリアージとは、限られた医療資源を最大限に活用し、救助可能な傷病者を確実に救い、治療を行うために、それぞれの重症度や緊急性に応じた治療優先度を決める行為です。本区では、大地震発生時から72時間以内までは7つの病院(東京曳舟・向愛記念・墨田中央・東京都済生会向島・中村・賛育会・山田記念)でトリ

一般質問

■バーベキューのできる広場の設置に向けて社会実験することになりました。



墨田区議会議員 佐藤 篤

バーベキューのできる広場は、住民の皆様からの要望が多い事項で、「どうして南千住や小松川にあるのに、墨田区にはないのだ」というお話をたくさん伺ってまいりました。自民党としてもこの間、要望を続けてまいりましたが、今回、さまざまなデータを改めて調査して区長に実現を強く求めました。

一般質問

■ラジオ体操について、地域力や観光の視点を含めて質問しました。



墨田区議会議員 坂井 ユカコ

東京2020大会機運醸成としてのラジオ体操や盆踊りについて、地域力や観光の視点を含めて質問しました。

■ラジオ体操

毎朝、34カ所で1000人以上が参加する墨田区のラジオ体操は、初代・勝田菊蔵区長が積極的に推進され、今では日本有数の規模に成長しました。私からはこの素地を活かし、東京2020大会の機運醸成に、生涯スポーツとして、ラジオ体操を活用すべきと訴えました。また、昭和59年の「すみだ健康区宣言」を契機に4年計画で設置された「区民健康づくりラジオ体操広場」のモニタリングは、経年劣化が見られます。歴史

的経緯を鑑み、今後、補修・

アジポストが設置され、重症度と緊急性に応じた救護が行われる計画です。トリアージで軽症と診断されれば、医療救護所という別の場所で手当てを受けます。また、この7つの病院以外での直接の傷病者の受け入れは行われません。

①区民の皆様に対し、一般的に馴染みの少ないトリアージという概念と、何故それを行うのかという丁寧な説明、緊急医療救護所(トリアージポスト設置病院・医療救護所)の周知徹底を行うことを要望しました。

②トリアージポスト設置病院同士の連携と、災害医療の現場を経験した方々のヒアリングを行うことを提案しました。

③陸路が断られた場合の傷病者の搬送手段や対応について、ヘリコプターや舟運の具体的な活用を訴えました。

◆その他、区立の学校における感染症予防対策について、海外の現地校からの転入の場合、健康診断票など必要書類の送付がないこともあるため、その対策について質問しました。

はそれぞれ広場が設置されていますが、墨田区のみ1か所も設置されていないことがわかりました。

バーベキューのできる広場は、これまで墨田区が進めてきた食育の場となると同時に、災害時の炊き出し訓練としての意味も持ちます。こうした場を設定することは、まさに区長の掲げる「人つながる墨田区」に合致するものです。

このような観点から、区長に提案した結果、「バーベキュー場の設置に関する社会実験については、ニーズや実際の課題を確認するための有効な手法の一つと考える。」「各種イベント等での実施について関係機関と調整する」との答弁があり、今後、設置に向けての社会実験をすることとなりました。

その他、区役所の内部統制の強化、窓口事務のアウトソーシング、公職選挙法の改正、町会・自治会の合併に備えて手続等の整備をすること、職員の育成(保護司や消防団への従事を含む)、電線地中化及び食育について質疑・提案しました。

■盆踊り

三波春夫さん等が歌い大ヒットした「東京五輪音頭」、このたび新バージョン「東京五輪音頭2020」として、発表されました。

みんなで踊ることを通して、地域がひとつとなることが東京2020大会のレガシーとなります。私からは普及のための取り組みを伺いました。また、「地域の盆踊り」には昨今、外からの踊り手が増え、海外からの方も見受けられます。私からは、こうした地域イベントが観光資源になり得るのではないかと提案しました。

東京2020大会は夏の開催で、試合観戦の合間、外国人観光客が訪問し、地域と交流する場を作れば、次世代を担う子どもたちにも大いに刺激になります。訪日外国人観光客6000万人時代に向け、すみだらしい観光資源を、しっかりと磨き上げていく必要を訴えました。

平成30年度常任委員会と特別委員会

第二回定例会の注目議論をピックアップ

企画総務委員会

区政の総合的な計画、広報広聴、組織、予算、公共施設等マネジメント、財産管理、契約などに関する事項を議論します。



写真左より/沖山仁委員、坂下修委員長、福田はるみ委員

【すみだ生涯学習センター本館内部改修その他工事請負契約】について

老朽化により別館を廃止することに伴い、業務を本館に集約することになったため、本館の改修工事を行う事が決定しました。トイレの洋式化等、障害者の方にも配慮した区民の方にとって使いやすいレイアウトにするよう求めました。

【特別区全国連携プロジェクトの取組】について

特別区長会と協定を結んでいる北海道町村会の十勝地域から墨田区・台東区との連携希望があり本年度から交流事業を開始することとなりました。

【見た目問題】に関する陳情を採択し、意見書を提出しました(4面参照)

地域子ども文教委員会

地域力支援、協治、地域コミュニティ、文化・芸術・スポーツ振興、子ども・子育て支援、学校教育、地域教育などに関する事項を議論します。



写真左より/田中邦友委員、加藤拓委員長、坂井ユカコ委員

各小中学校の通学路沿道ブロック塀の危険箇所点検について

6月18日に発生した大阪北部を震源とする地震により小学校のブロック塀が倒壊し、死亡事故が発生しました。これを受けて、墨田区教育委員会では6月18日から区立小中学校35校の学校施設について、技術職員による緊急点検を行いました。その結果、1校で既存不適格のブロック塀が確認されました。(6月25日に補修工事完了) また、学校通学路についても各小中学校に通学路沿道の危険箇所の点検と、地震発生時の児童・生徒の安全行動等の指導を再度徹底して行います。



産業都市委員会

産業振興、経営支援、消費者対策、観光、まちづくり、防災、危機管理、道路、公園、河川、環境保全、緑化、清掃、リサイクルなどに関する事項を議論します。



写真左より/瀧澤良仁委員、中沢えみり副委員長、しもむら緑委員

今後の区道における無電柱化の方向性を示す基本方針が報告されました

東京2020オリンピック・パラリンピック開催を契機に、国や都による無電柱化を一層推進するための法令が整備されています。そのことに伴い、市区町村も区域における無電柱化の推進に関する施策計画策定に努めることとされ、墨田区の第一期計画を平成31年度から37年度とするなど、区の計画スケジュール等が明らかになりました。

道路・公園照明灯LED化事業の実施について報告がありました

平成32年12月31日以降、「水銀による環境の汚染の防止に関する法律」が施行され、水銀ランプの製造等が禁止となります。これにより、区が指定する道路・公園照明灯8,326灯のLED化に向け、10年間の包括的リース方式を活用した整備が今後進められていきます。



45th
瀧澤 良仁議員
議員在職 45年以上

35th
坂下 修議員
議員在職 35年以上

15th
樋口 敏郎議員
議員在職 15年以上

4th
沖山 仁議員
議会正副議長 在職4年以上

全国市議会議長会より会派議員が4名
各特別表彰を受賞いたしました。
このこと報告申し上げます。

「見た目問題」で陳情採択 墨田区議会で全国初

平成30年度第2回定例会において、墨田区議会は全国初となる「見た目問題」に関する陳情を採択しました。「見た目問題」とは、先天的または事故及び病気等による後天的な理由で、人目に触れる部分に生じている特徴的に目立つ症状によって、様々な社会的困難を抱える人たちが直面している状況のことです。日本には約100万人の当事者がいると推計されています。陳情内容は、「見た目問題」に関して、住民への啓発、実態調査及び把握、区役所内の連携体制の整備、相談窓口の設置、国に対し、助成金の創設や就職差別の禁止等「見た目問題」に関する施策の検討を求める意見書の提出を求めることなどです。墨田区議会は全会派一致で陳情を採択し、国へ意見書を提出しました。

We Take Action! 私たちは実現します!

すみだ区議会 自由民主党 所属議員紹介



田中 邦友

- 監査委員
 - 地域子ども文教委員会
 - 災害対策特別委員会
- ☒ 八広1丁目39番17号
☎ 03-3616-7014



木内 清

- 区民福祉委員会
 - 都区制度改革等特別委員会
- ☒ 亀沢2丁目12番3号501号室
☎ 090-3060-8434



坂下 修

- 企画総務委員会委員長
 - 災害対策特別委員会
- ☒ 向島3丁目18番10号
☎ 03-3625-1810



瀧澤 良仁

- 墨田区議会議長
 - 産業都市委員会
 - 災害対策特別委員会
- ☒ 墨田5丁目33番4号
☎ 03-3611-4003



中沢 えみり

- 議会運営委員会
 - 産業都市委員会副委員長
 - 都区制度改革等特別委員会
- ☒ 堤通1丁目5番9号
☎ 080-5008-9930



福田 はるみ

- 幹事長・議会運営委員会委員長
 - 企画総務委員会
 - 都区制度改革等特別委員会
- ☒ 業平4丁目5番16号
☎ 03-3618-6125



樋口 敏郎

- 議会運営委員会
 - 区民福祉委員会
 - 議会改革特別委員会委員長
- ☒ 八広3丁目6番3号
☎ 03-3617-4129・090-6043-3869



沖山 仁

- 企画総務委員会
 - 都区制度改革等特別委員会
- ☒ 京島1丁目39番1号918号室
☎ 03-3617-6558



坂井 ユカコ

- 地域子ども文教委員会
 - 議会改革特別委員会副委員長
- ☒ 東駒形2丁目2番4号
☎ 03-3622-7063・090-3617-4313



佐藤 篤

- 区民福祉委員会委員長
 - 議会改革特別委員会
- ☒ 京島3丁目18番4号
☎ 090-8567-8293



しもむら 緑

- 産業都市委員会
 - 議会改革特別委員会
- ☒ 亀沢4丁目22番8号608号室
☎ 080-2443-0212



加藤 拓

- 議会運営委員会
 - 地域子ども文教委員会委員長
 - 議会改革特別委員会
- ☒ 緑1丁目2番12号503号室
☎ 050-1334-9640